

八王子市立第三中学校「平成20年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

【教育目標】

自ら考え正しく判断し行動できる人間性豊かな生徒を育てる。
 ・進んで学習する人 ・健康で明るい人
 ・思いやりのある人 ・責任を果たす人

1 地域の実態

校区のほとんどが閑静な住宅地である。三代続けて本校に学ぶ家庭も多い。地域・家庭ともに学校に協力的である。在校生の7割程度が第六小学校から入学している。

2 地域住民・保護者の期待や願い

生徒には確かな学力の定着と規律ある生活態度を身につけさせることを願っている。活発な部活動への期待も高い。

3 期待される生徒像

自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に学習に取り組む心身ともに健康な生徒

《本校の現状》(「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること)

- ・児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果からは、昨年度、今年度ともに「表現する力」「問題を発見する力」及び「見通す力」の伸長が課題であることが分かった。
- ・全国学力調査の結果からは、国語においては「国語への関心・意欲・態度」「言語についての知識・理解・技能」の伸長と「言語事項」の定着が課題であることが分かった。また、数学については「数量関係」についての基礎的理解と「数学的な表現・処理」の定着課題であることが分かった。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- 1 基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。
- 2 生徒に学ぶことの楽しさをあじわわせるとともに、自ら学ぶ意欲を引き出す。
- 3 各教科の授業において一層の授業改善を図る。

(本年度の学力向上の具体策)(いつまでに、どの程度)

- 1 基礎的・基本的な事項の確実な定着を図るために
 - ・長期休業期間や定期考査前を利用して、全学年において補充教室を行う。
 - ・定期考査の内容を見直し、基礎的・基本的な事項の確実な定着を促すものに改善する。
 - ・総合的な学習の時間において発表の機会を多く設定し、表現力の伸長を図る。
- 2 学ぶことの楽しさと意欲の向上のために
 - ・年間を通じて、全学年において朝読書を行う。
 - ・選択教科の授業におけるガイダンス機能の充実を図り、生徒の興味・関心に応じた授業の選択を支援する。
- 3 各教科における一層の授業改善を図るために
 - ・全教員に対し、学期ごと一回ずつの管理職による1単位時間の授業観察を行い、それぞれの授業改善のための視点を明確にする。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

- ・年間5回実施する定期考査を活用した成果の検証
- ・年間3回の学校公開週間において授業公開し、保護者による授業評価を行う。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	学習習慣が身につけていない生徒が多い。基礎的・基本的な事項の定着が課題である。	単元ごとの漢字テストの実施。定期的なノート点検の実施。漢検の機会の提供。学習インターンシップを活用した補充学習の実施。年間を通じた朝読書の実施。	美術	彫刻刀や水彩用具などの使い方が定着していない生徒が多い。表現力の伸長が課題である。	目標を明確にした導入とまとめを工夫した授業の実施。基礎的な用具の使用法の理解と習熟による表現力の伸長。
社会	社会的事象への関心・意欲が高く授業に積極的に臨む生徒が多い。地理的分野の基礎的・基本的事項の定着が課題である。	視覚的に訴える資料の活用。ワークシートや小テストの適切かつ有効な活用。	技術・家庭	ものづくりの体験が不足している生徒が多い。主体的に学習する意欲を引き出すことが課題である。	基礎的な知識と技能の定着を図る実験・実習の機会を多く設定。教室環境の工夫。
数学	数学への関心・意欲が高い生徒が多い。習熟の程度に応じた指導の充実が課題である。	学校インターンシップの活用による補充学習の実施。個に応じた教材の作成・開発。小学校との連携を図った補充学習の実施。	保健体育	運動に対する興味・関心の高い生徒が多い。集団としての集中力を高めることが課題である。	授業の流れと集団的なルールについての十分な説明。集団において一人一人のやるべきことの理解の徹底。
理科	自然事象への関心があり、意欲的に授業に参加する生徒が多い。観察・実験の基礎的な技能の習熟が課題である。	安全面に配慮し、観察・実験器具を繰り返し使用することによる技能の定着。科学的な思考の過程を大切に授業展開。	外国語	初めての英語の学習に対し興味・関心を高め、基礎的・基本的な事項の定着を図ることが課題である。	少人数指導の実施。
音楽	鑑賞の経験の少ない生徒が多い。多様な音楽を味わわせるとともに基礎的・基本的事項の定着が課題である。	多様な音楽を味わわせる鑑賞の機会の設定。個に応じた教材と指導の充実。学習方法のわかりやすい説明と音楽に関する多様な経験の充実。	総合的な学習の時間	小学校での学習経験を生かすとともに課題研究や問題解決の力を伸長することが課題である。	プレゼンテーションソフトなどの教材・教具を活用した発表の機会の設定。少人数活動の実施。まとめ方や発表の仕方についての丁寧な説明。
その他(道徳・特別活動等) ・資料の一層の活用を図った道徳授業の改善。 ・道徳授業地区公開講座の改善。 ・道徳の全体計画の作成。 ・外国籍の生徒の個別指導の充実。 ・特別支援学級との交流の機会の充実。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	「話すこと」「発表すること」に消極的な生徒が多い。表現力の伸長が課題である。	「聞くこと」「考えをまとめること」「発表すること」の過程を大切にしながら小集団活動の実施。	美術	発想の能力が不十分で安易にキャラクター等を取り入れる傾向がある生徒が一部ある。発想を豊かにする指導が課題である。	幅広い作例の提示。カラ・プリントや視聴覚機器の活用によるわかりやすい導入の工夫。個別指導の充実。
社会	社会的事象への関心・意欲が高いが、授業に消極的な生徒が多い。基礎的・基本的事項の定着が課題である。	視覚的に訴える資料の活用。ワークシートや小テストの適切かつ有効な活用。	技術・家庭	技術・家庭に関する実践的・体験的な活動の不足している生徒が一部にある。生活に必要な基礎的な知識や技術の定着が課題である。	実技や実習、体験的な活動の場面の設定。
数学	基礎的な計算の技能が十分身に付いていない生徒が一部にある。新しい内容の定着を図る丁寧な指導が課題である。	視覚に訴える教材の活用。毎時間ごとの計算練習の時間の設定。学習インターンシップの活用による補充学習の実施。小学校との連携による補充学習の実施。	保健体育	運動に対する苦手意識を持っている生徒が多い。基礎的な運動技能の向上が課題である。	基礎的な体力づくりと基本的な動きづくり。種目別リ・ダ・の育成。
理科	観察・実験に意欲的かつ協力的に取り組む。つまずきやすい電気に関する単元の指導の充実が課題である。	観察・実験の機会の設定。教室での授業における作業的学習の一層の導入。科学的な思考の過程を大切にしながら授業展開。	外国語	発言する生徒が少ない。授業に対する意欲を一層引き出すことが課題である。	少人数指導の実施。習熟の状況に応じた会話練習の設定と教材の作成。学生インターンシップ等を活用した補充学習の実施。
音楽	楽譜に関する知識が不十分な生徒が一部ある。音楽の深い味わいを経験させることが課題である。	読譜の機会を多く設定。音楽の楽しさを感じさせる教材と指導の工夫。	総合的な学習の時間	学習活動に対して素直に取り組む生徒が多い。主体性の一層の伸長が課題である。	学習の目標や課題を明確に把握するための導入の工夫。適切な資料や教材の提示による個別の学習計画の作成。
<p>その他(道徳・特別活動等)・学校行事の機会を活用した集団づくり。(体育祭、連合音楽会、合唱コンクール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な体験的な学習の機会の設定(職場体験) ・資料の一層の活用を図った道徳授業の改善。 ・道徳授業地区公開講座の改善 ・道徳の全体計画の作成。 ・外国籍の生徒の個別指導の充実。 ・特別支援学級との交流の機会の充実 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	「話すこと」「発表すること」に消極的な生徒が多い。表現力の伸長が課題である。	「考えをまとめること」の過程を大切にした発表の機会の設定。	美術	発想や構想の能力が高まってきた生徒が多い。既習の技能を活用する力の伸長が課題である。	様々な技法を提示するための作例や教材を用いた説明。個に応じた指導の徹底。個性を生かした表現を促す支援。
社会	社会的事象への関心・意欲が高いが、授業に消極的な生徒が多い。発言を引き出す指導が課題である。	視覚的に訴える資料の活用。ワークシートや小テストの適切かつ有効な活用。高校進学に向けた基礎学力の定着を図る教材研究。	技術・家庭	知識の適切な活用について課題のある生徒が一部にある。生活の場面での知識の一層の活用が課題である。	生活の改善のために必要な情報の提供。技能を確実に身につけさせるための教材の開発。
数学	全体に落ち着いた授業が実施できているが、一部に考えることに消極的な生徒がある。表現力の伸長が課題である。	発問の工夫。発表の機会の設定。様々な角度から考えることができるような問題の工夫。学生インターンシップ等を活用した補充学習の実施。小学校との連携を図った補充学習の実施。	保健体育	運動能力が高い生徒が多い。一層積極的な活動の促進が課題である。	個に応じた目標の設定。生徒主体の活動の設定。
理科	自然事象への関心・意欲は高く、基本的な学習習慣はできている。基礎的な知識の定着と理解の促進、特につまずきやすい天文に関する単元の指導の充実が課題である。	自然事象への興味・関心を引き出す話材の収集。科学的な思考の過程を大切にした授業の展開。図表等の板書方法の工夫。	外国語	英語に関する興味・関心が高まってきている。多様な教材の開発が課題である。	少人数指導の実施。学生インターンシップを活用した補充学習の実施。スピーチ原稿の暗記などを取り入れた活動の充実。
音楽	三年間の学習のまとめとして学習を位置づけることが課題である。	音楽に対する深い感動を味わわせるための経験の設定。リ・ダ・の育成。	総合的な学習の時間	課題への興味・関心が高まってきている。主体的な学習に向けた支援と行動できる力の育成が課題である。	発表の機会の設定。多様な情報を収集する活動の設定。

その他(道徳・特別活動等)・最上級生として、学校全体をリ・ドする経験の提供。

- ・学校行事の機会を活用したリ・ダ・の育成。
- ・多様な体験的な学習の機会の設定。
- ・資料の一層の活用を図った道徳授業の改善。
- ・道徳授業地区公開講座の改善
- ・道徳の全体計画の作成。
- ・外国籍の生徒の個別指導の充実。
- ・特別支援学級との交流の機会の充実